

授業科目名	保育内容総論		科目コード	204040	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	1 年
担当教員	米丸 真由美		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 ・ 保育所・保育園及び認定こども園の現場に 19 年ほど勤務し、各年齢のクラス担任を経験。実務経験を活かし、理論と実践を繋げた学びから保育の現場を具体的にイメージできる授業を行う。 ・ 近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	平成 29 年告示『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 原本			
	著 者	文部科学省 厚生労働省 内閣府・文部科学省・厚生労働省			
	出版社	チャイルド本社			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ 保育内容の史的展開を踏まえ、保育とは何か、保育の基礎及び保育内容を理解する。 ・ 子どもの育ちをめぐる現状と課題を知り、保育の役割、保育における遊びの位置づけなどの基本を理解し、実践に反映できるようになる。 ・ 記録の観点と方法の理解、総合的な保育の観点から指導計画を立案し、実践することができる。					
<授業の概要・授業方針> ・ 講義形式の他、グループワーク、模擬保育等を通して、保育実践を構築し、検討できる力を養う。 ・ 子どもの最善の利益について複眼的に思考し、保育実践を多角的な視点から検討することができるようになる。					
<成績基準・評価基準> 授業の理解度は、授業における発言を含む授業態度とレポートで評価します。 ・ 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・ 成績評価 1. 授業における発言を含む授業態度・模擬保育 50% 2. 課題・レポート 50%					

<使用問題集・注意事項>

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

•

授業科目名		保育内容総論	
回	授 業 内 容		備 考
1	オリエンテーション・概要		
2	保育の基本・保育内容の理解		
3	保育内容の歴史的変遷とその社会的背景		
4	子どもの発達や生活に即した保育内容 (乳児保育、満1歳以上2歳未満児)		
5	子どもの発達や生活に即した保育内容(3歳以上児、異年齢)		
6	養護及び教育が一体的に展開する保育		
7	環境を通して行う保育		
8	生活や遊びによる総合的な保育		
9	生活や発達の連続性に考慮した保育		
10	環境を通して行う保育		
11	記録の観点		
12	記録の方法		
13	指導計画立案の考え方と書き方①		
14	指導計画立案の考え方と書き方②		
15	保育の組み立て		
16	年齢に合わせた製作		
17	指導案作成①		
18	指導案作成②		
19	指導案作成③		
20	指導計画案作成①		
21	指導計画案作成②		
22	指導計画案作成③		
23	模擬保育・準備、作成①		
24	模擬保育・準備、作成②		
25	模擬保育・準備、作成③		
26	模擬保育①		

27	模擬保育②	
28	模擬保育 評価・反省 PDCA	
29	模擬保育 評価・反省	
30	まとめ・レポート	